

向い、台

千葉市立都小学校だより
令和4年度 11月号



全力を出し切った陸上大会

校長 鈴木 巧

10月29日(木)、快晴の天気の下、第58回千葉市小学校陸上大会が開催されました。昨年に引き続いてリレーを行わない縮小開催でしたが、男女合わせて20名の選手が各種目に分かれて出場しました。大会に向けて約一か月間、朝練習や放課後練習、体育の時間等を活用して練習を続けてきました。大会前日に行われた校内テレビ放送での壮行会では、代表の選手が応援してくれている友達や下級生へ、指導してくれた教職員へ、毎朝朝練に送り出し応援してくれた保護者の皆様への感謝の気持ちを述べ、たいへん立派でした。

大会当日、選手以外の6年生は、全員で選手の出発を見送りました。その後は、選手が全力で走る・跳ぶ・投げる様子をオンラインで見ながら、学校の体育館で精いっぱい応援をしました。その応援がしっかりと届いたのでしょう。上位入賞者も多く、都小の選手が大活躍した陸上大会となりました。特に、女子1000m走と男子ソフトボール投げでは、都小学校の歴代の記録を破る好記録でそれぞれ全体の1位となりました。

都小の素晴らしいところは、がんばっている子どもたちを素直な気持ちで応援できることです。120人いる6年生の中で選手になれるのはたったの20人。がんばって朝早く起きて、一生懸命練習したのに選手になれなかったのは、本当に悔しかったと思います。しかし、その気持ちをグッと抑え、選手になった仲間を必死に応援する姿は本当に素晴らしかったです。これが歴史と伝統のある都小の持っている「力」だと思います。この目には見えないけれど、素晴らしい伝統を今後も引き継ぎ、来年も再来年も全力でがんばってくれることを願っています。

都小150年の歴史(6) (仮)150周年記念広場

昭和46年に設置された岩石園と昭和59年に建設された動物飼育舎がある都小の中庭は、これまでいろいろな形に姿を変えてきました。昭和60年には流水実験場、平成2年にはミニ水田、平成18年には中庭観察池が作られました。

鳥インフルエンザ等の影響で全国的に小学校での飼育活動は減少傾向にあります。都小も近年、飼育小屋には生き物がいない年月が続き、老朽化も目立つようになりました。

そこで、150周年実行委員会でこの中庭を子どもたちがゆっくり過ごせる場所にしよう、ということで「(仮)150周年記念広場」を建設することになりました。わくわく教室会長の清田様をはじめ、おやじの会、PTAの皆様方の協力により、現在、飼育小屋と観察池が撤去され、写真のようにきれいに整地することができました。今後、整地を重ね、子どもたちが楽しく、またゆったりとくつろげる場所にしていきたいと思ひます。

本当にありがとうございました。



整地された(仮)150周年記念広場